

「行政法1」

ADMINISTRATIVE LAW / VERWALTUNGSRECHT

担当: 森 稔樹(大東文化大学法学部教授)

TOSHIKI MORI, PROFESSOR AN DER DAITO-BUNKA
UNIVERSITÄT, TOKYO

開講にあたって

この講義の目的・目標(1)

- 行政作用法総論の基本的な事項を理解する。
- 行政作用法総論の諸問題について、論理的な文章による説明を行える。
- 様々な政治的問題、社会的問題を法的に思考し、論述しうる能力を身につける。
- 各種試験(公務員試験、行政書士試験、司法試験など)のための基礎固めをする。

この講義の目的・目標(2)

- 法学検定試験の問題を解けるようになる。
- 公務員試験の短答式(択一式)問題を解けるようになる。
- 司法試験の論述式試験に向けての基礎的学力を身につける。
- 国家や地方公共団体の活動の在り方を考える。

教科書と六法

- 教科書：櫻井敬子・橋本博之『行政法』〔第5版〕(2016年、弘文堂)
- 六法は、最新のものを用意すること。
- スライドを使用する(DB PORTALでファイル入手可能とするように準備しておく)。
- プリントを配布することもある(DB PORTALでファイル入手可能とするように準備しておく)。

参考文献(1)

- ◆塩野宏『行政法 I 』〔第六版〕
- ◆芝池義一『行政法読本』〔第4版〕
- ◆宇賀克也『行政法概論1 行政法総論』〔第5版〕
- ◆高木光『行政法』
- ◆中原茂樹『基本行政法』〔第2版〕
- ◆黒川哲志・下山憲治・日野辰哉編著『確認行政法用語230』〔第2版〕

参考文献(2)

- ◆宇賀克也・交告尚史・山本隆司編『行政判例百選 I 』〔第7版〕
- ◆橋本博之『行政判例ノート』〔第3版〕
- ◆高木光・宇賀克也編『行政法の争点』
- ◆下山憲治・友岡史仁・筑紫圭一『行政法』
- ◆その他、随時紹介する。

成績評価(1)

2015年度以降に入学した学生(前期は「行政法1A」、後期は「行政法1B」)

- ①講義の進行状況に応じて小課題を出題する(複数回)。
 - ②期末試験(定期試験期間中): 論述式とする予定。一切の参照を不可とする。
- ☞ 評価割合 ①:②=1:4

成績評価(2)

2014年度以前に入学した学生(通年で「行政法1」)

- ③講義の進行状況に応じて小課題を出題する(複数回)。
 - ④前期末試験(定期試験期間中): 論述式とする予定。一切の参照を不可とする。
 - ⑤後期末試験(定期試験期間中): 前期末試験と同様とする予定。
- ☞ 評価割合 ③:④:⑤=1:2:2

注意事項

- ・教科書の通読(とくに復習が重要!)
- ・ノート(またはカード)づくり(手を動かす!)
- ・答案練習(期末試験などの過去問は <http://kraft.cside3.jp/PrVwR0.htm> で公表)。
- ・憲法学のうちの人権論と司法権の部分をよく学習しておくこと!
- ・民法総則、とりわけ法律行為論をよく復習しておくこと!
